

【被表彰館の概要・活動内容】

広島市似島公民館	<p>本公民館は、「似島の魅力発信！未来へつなぐ豊かな自然と歴史・文化」を目指して、広島市や実行委員会と共催して、「ハノーバーの日&似島でドイツ体験」似島活性化応援事業を実施している。</p> <p>この事業は、日本におけるバウムクーヘンの発祥の地として、島外の人にも広く知られるきっかけづくりとなっており、似島の歴史と自然を島外からの参加者と共に学び、交流を深めている。また、地域住民が集う場として、公民館をレストランに見立て学びの要素を加えた「おいしい！でつながる・広がる交流の輪～海の見えるレストランへようこそ～」を実施し、若い世代を取り込むことに成功し、地域住民が似島の良さを再認識する機会を創出し、地域住民の絆が深まっている。</p>	
大竹市栄公民館	<p>本公民館は、～このまちいいね、愛ラブさかえ～を目指して、本県の公民館連合会が実施している公民館活性化モデル事業の応募をきっかけに、2年計画で「栄サイクリング探検隊」事業を実施した。</p> <p>この事業の企画・運営には、登下校の見守りやパトロールなどを行っている「栄町を明るくする会」を中心に実行委員会が発足され、公民館職員と共に、自治会、子供会、地元企業、大竹警察署、市の関係部署が連携して行った。自転車の安全な乗り方教室と、子供たちと住民と一緒に地域を巡ることで地域の宝物の発見したり、町内にある日本製紙大竹工場施設を巡り、環境について考えたりするなど、2年間でPDCA サイクルを回し、子供たちに自分の住む地域を知る学びの場が提供された。これらのことにより、公民館来館者を増加させ地域住民の交流が促進されている。</p>	
庄原市自治振興センター	<p>本センターは、一人一役みんなで実践～家族のように支え合い～を目指して、農業体験・郷土学習を他団体で連携する自治振興区を強みとした事業を実施している。保育所・小学校・中学校と地域住民が、郷土学習を中心とした地域と学校が協働して行う学習において、“大人が子供に教える”だけでなく“子供から大人が学ぶ場を設ける”など互いの学びによる地域づくりを実践している。「ヒゴダイの保全活動の継続」「比和そばを使った菓子作り」など、郷土についての理解が深まった。</p> <p>また、参加者が互いの実践を紹介し評価し合う「支えあいづくりの集い」を行い、学校を基盤とした地域づくりが進められている。自治振興センターが幅広い世代をつなぐ地域の居場所としての役割を担うことにより、すべての住民の郷土愛の育成や地域への愛着心の醸成が図られる地域の拠点となっている。</p>	